

編 集 後 記

前号は、“9.11”の衝撃とアフガニスタン戦争に直面した国際情勢のなかで、この編集後記を書かざるをえなかった。しかし、本号もまた、イラク戦争に国際世論が分裂する事態を目の当たりにしながら、重苦しい気持ちで編集に取り組まなければならなかった。何と皮肉なことか……。振り返れば、1989年12月のマルタ会談で冷戦の終焉が確認され、ポスト冷戦の未来に明るい見通しが生まれたはずなのに、これからどうなるのか、暗いペシミスティックな気持ちにならざるをえない。

複雑な錯綜する国際情勢にあっても、私たちは自らの存在意識に確信がもてるような時代であってほしいと願っている。これは、国家や民族の壁を超越して言えることであり、未来に人間として夢を描くことができるといいのであるが、こうした思いが空しく聞こえるほど、“カオス”が蔓延しているのであろうか……。

(河内信幸)

国際研究 19

2003年2月20日 発行

編集発行 中部大学国際地域研究所
〒487-0027 愛知県春日井市松本町1200
電話〈0568〉51-1111

印刷所 名古屋リプリント
〒462-0825 名古屋市北区大曾根1-9-26
電話〈052〉915-8922

編集委員会
長 島 信 弘
河 内 信 幸